



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大開2丁目プロジェクト新築工事		
建設地	福島区大開2丁目		
建築用途	共同住宅(診療所付)		
建築主			
設計者			
敷地面積	681.93 m ²		
建築面積	386.07 m ²		
延床面積	2,242.29 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上8階		
完了年(予定)	2024年3月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
B- BEE=0.7 ★ ★ ★ ★ ★ S: ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ C: ★	★ ★ ★ ★ ★ 30%: ★ ★ ★ ★ ★ 60%: ★ ★ ★ ★ ★ 80%: ★ ★ ★ ★ 100%: ★ ★ 100%超: ★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.6	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1	
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.5	

3 設計上の配慮事項		
総合 外壁はタイルと吹付タイルとし、バルコニーの手摺りはガラスを設置し、デザイン性を高めるとともに周辺環境に調和するように努めた。また、断熱性能を高めることにより環境に優しい計画としています。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使うことで空気室環境を向上させています。住宅部は昼光率の高い居室の設計に配慮した開口の設定を行っています。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 照明器具にLED照明を使用しており、省エネルギー基準に適合。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出量を抑制して地球温暖化に配慮しています。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.7

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.1
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率に考慮した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.1
配慮事項	等級4にした。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.4
配慮事項	照明器具にLEDを使用する。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] -	住宅部分[BEI] 0.91	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.97